2025年度東京都広域食育推進民間活動支援事業企画

あぐりフレンズ・東京　親子で学ぶ東京の農業2025

# 有楽町にやさい畑がやってくる！

**10月25日（土）開催報告**

**主催：JA東京中央会・東京都生協連　協力：JA東京青壮年組織協議会**

「あぐりフレンズ・東京」は、JAと生協が協同して消費者と生産現場の架け橋となり、東京の農業を発信し、東京の農業の活性化につなげる取り組みです。東京には多くの畑があり、たくさんの野菜や果物や花が作られています。今回は「東京味わいフェスタ 2025」の有楽町エリアで、JA 東京青壮年組織協議会が主催する「さつまいも・しいたけ・小松菜・カブ」の収穫体験に、親子10組20名が参加し、東京の農業について楽しく学びました。

**都心にプランターの「やさい畑」が出現！**

小雨の中でしたが、東京の農業を学び、収穫体験に参加しました。JA 東京青壮年組織協議会の生産者から、東京の農業についてお話を聴くグループと、収穫体験のグループに分かれてスタートしました。

江戸東京野菜をはじめ、東京で生産されている野菜や花、畜産など、プランターやパネル展示を見ながらお話を聴きました。少人数のグループだったため、質問や思いなどを気軽に話せる貴重な機会となりました。収穫した野菜を自宅で美味しく食べることも大事な学びとのことです。

東京のど真ん中で、プランターとはいえ、畑の土の匂いや手触りは特別な経験です。そこから野菜を掘り出したり、抜き取ったりの作業は、遊びとは違った面白さがあり、お子さんたちは大興奮でした。土の中で根っこがつながっているさつまいも、ポキッと折るしいたけ、小松菜とカブはそっと引き抜き、野菜がどのように栽培されているか、収穫されるのかが体験できました。

収穫体験を通して、日頃は接点のない生産者のみなさんと交流でき、東京の農業を楽しく学ぶことができました。

## 参加者の感想抜粋

【参加した理由】
- 子どもに収穫体験をさせたかったから
- 東京の野菜のことを子どもに見せるため
- 野菜がどのように育っているか、学んでほしかった
- 遠出しないとできなかったので、とてもありがたかった。

【感想】
- 和牛やパッションフルーツなど。こんなにもたくさんのものを育てているとは思わなかった
- 東京のお野菜をもっと食べてみたい
- たくさん野菜がとれてうれしかった
- もっとこういった体験を子どもにさせたい
- とても楽しかった
- ふだんはできない貴重な体験をありがとうございました